

第2回 ISYSE 研究会について（報告）

開催日時	2018年9月16日14:00～17日17:30
場所	長良川観光ホテル 石金, 名古屋大学
参加者	21名（内応用物理会員20名） ※参加者リストは別紙のとおり。

活動内容

「共同研究のススメ～その始め方・進め方・終わり方」と題して第2回 ISYSE 研究会を2日間にかけて泊まり込みで開催した。招待講演5件（基調講演1件，特別講演1件，招待講演3件）については，大学・国研・企業の方にお話し，自己紹介・研究テーマ紹介・共同研究や研究連携に関するご経験の紹介・若手や学生へのアドバイスをお話しいただいた（図1）。学生幹事には自身の研究について他の一般講演者より長い時間を取り講演してもらった。その他，一般講演7件を行った。参加者全員に発言してもらうため，夕食時に全員に自己紹介をしてもらった。研究会後に集合写真を撮影した（図2）。岐阜城ふもとの長良川沿いという恵まれたホテルで開催できた。その後，名古屋大学に移動し，2つの研究室を見学させていただいた。休日であったため見学できた箇所は限られていたが，研究室の活発な活動が



図1 講演と会場の様子。



図2 研究会後の集合写真。

伺えた。なお，16日昼と17日昼に同会場にて幹事会を開催した。1日目は研究会開催の段取りなどの確認，2日目は今後の ISYSE の活動についての議論をそれぞれ行った。

質疑応答時間を十分に設けていたが，招待講演を中心に非常に活発な質疑応答・議論があり，総合討論の時間が不足するほどであった。学生どうしが積極的に質問しあっていたことが印象的であった。また，泊まり込みであったため，夜まで交流や議論を深めることができた。 ISYSE 研究会では，参加者全員が発言すること，交流を長く続けてもらうこと（この点は ISYSE 活動全体の）を目標としているが，大成功であったといえる。参加者全員の顔が見える少人数ならではの和やかな雰囲気で開催されたことは喜ばしいことである。一方，できるだけ参加しやすいように秋季学術講演会の直前に開催したが，学術講演会での発表準備のために投稿・参加を見送られたケースが散見された。開催時期については今後も引き続き検討していく。